

- 日本産全種，6科389種を収録 一国产全種を網羅した，世界初の写真図鑑
- 環境調査に必須 植物の種子生産に重要な役割を果たすハナバチの同定が可能に
- 同定ポイントを拡大写真で解説 類似種の相違点を拡大写真で確認して識別できる
- 訪花先の植物を記載 生物間相互作用の研究から農業利用まで

日本産 ハナバチ 図鑑

An Illustrated Guide to Japanese Bees

多田内 修・村尾 竜起 編

A5判 上製 カラー 480ページ 定価：本体 12,000円+税 ISBN 978-4-8299-8842-8



【写真検索表】

科，属，種数の多い属では亜属への検索表を収録
微細な模様も比較できる鮮明な拡大写真を
多数掲載



2014年8月上旬
発売

【形態写真】

グループごとに同定のポイントとなる部分を精選して掲載。表面の模様，毛の状態など，標本写真だけではわからない細部を比較して識別できる

【種解説】

最新の研究に基づく学名を採用。形態の詳細の他，発生期・分布・訪花植物を記載。標本写真は可能な限り雌雄双方を掲載。訪花を中心とした生態写真も多数収録

ご回覧ください

--	--	--	--

日本産ハナバチ全種を詳述，同定が可能に

ミツバチの飼育によりはちみつを採取する養蜂は，古代エジプトですすでに行われていたと言われる。近年は蜂群崩壊症候群（CCD）が話題になり，日本在来のニホンミツバチに注目が集まったり，早春に開花するリンゴの受粉にマメコバチが活用されている。小学校の国語の教科書に登場したマルハナバチも人口に膾炙した。これらのハチは植物の花粉や蜜を食物とすることに特化した「ハナバチ」と呼ばれるグループに属している。ハナバチ類は野生植物の花粉媒介に大きな役割を果たしており，生態系の健全性を測る指標としても注目される。

しかし，これまでは，図鑑などに掲載されるのはミツバチなどよく知られたごく一部の種に限られ，その豊かな全貌を知る機会はほとんどなかった。生物多様性や生物間相互作用の重要性が知られるようになるなかで，大きな生態系機能を担うハナバチの同定を支援する図鑑の刊行が待たれていた。本書は，そうした声に応えるものである。

- ・ 標本写真の他，**同定のポイントとなる部位の拡大写真**を各種について6～10点程度掲載。5,000点を超える写真を収録
- ・ 体表の刻み目や毛の状態など，解剖しなくても観察可能な**外部形態に注目して識別**する
- ・ 最新の技術を使った被写界深度の深い写真と高精細印刷で**細部が見える**
- ・ 庭先や公園の花壇で見られる身近な種類から，小笠原や琉球諸島の稀少種まで，**日本産全種を網羅**

割引販売のご案内

執筆者による紹介の場合に限り，著者割引価格で注文できます。出版社の担当者に，メールまたはファクスで以下の内容を連絡して下さい。書店での割引販売はありませんのでご注意下さい。

- 1 紹介者氏名
- 2 本のタイトル（『日本産ハナバチ図鑑』としてください）
- 3 必要部数
- 4 注文者氏名
- 5 送付先住所
- 6 電話番号
- 7 公費購入の場合必要書類と注意事項（日付ブランク，宛先など）：

申込先：文一総合出版 担当：菊地千尋

メールの場合：charlie@bun-ichi.co.jp

ファクスの場合：03-3269-1402（必ず菊地宛にお送りください）

■著者割引価格

税込 10,368 円です（2割引）。

送料は無料です。

■支払い方法

代金は後払いです。本と一緒に請求書，郵便振替用紙が送られてきますので，振替用紙を利用して郵便局から振り込んでください。振替用紙使用の場合，振り込み手数料は無料です。銀行振込みの手数料は購入者負担となります。